

2023年9月30日開催研修 研修後のアンケート結果

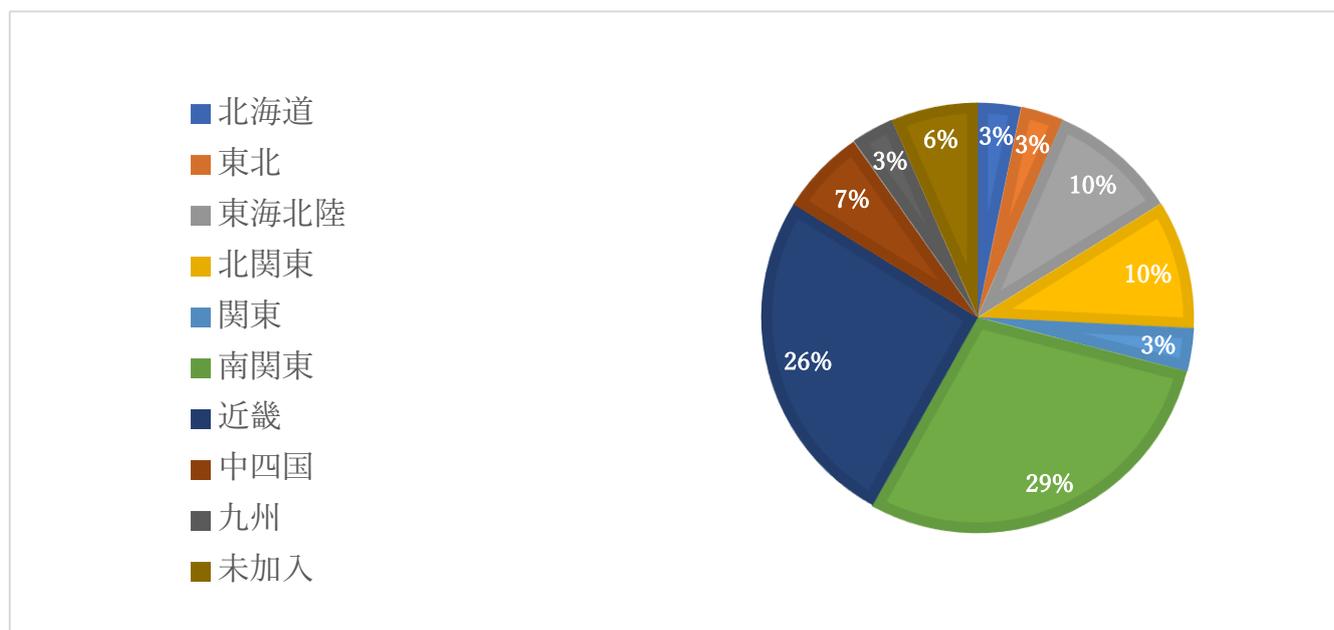
参加者数：41名

アンケート回答者数：31名

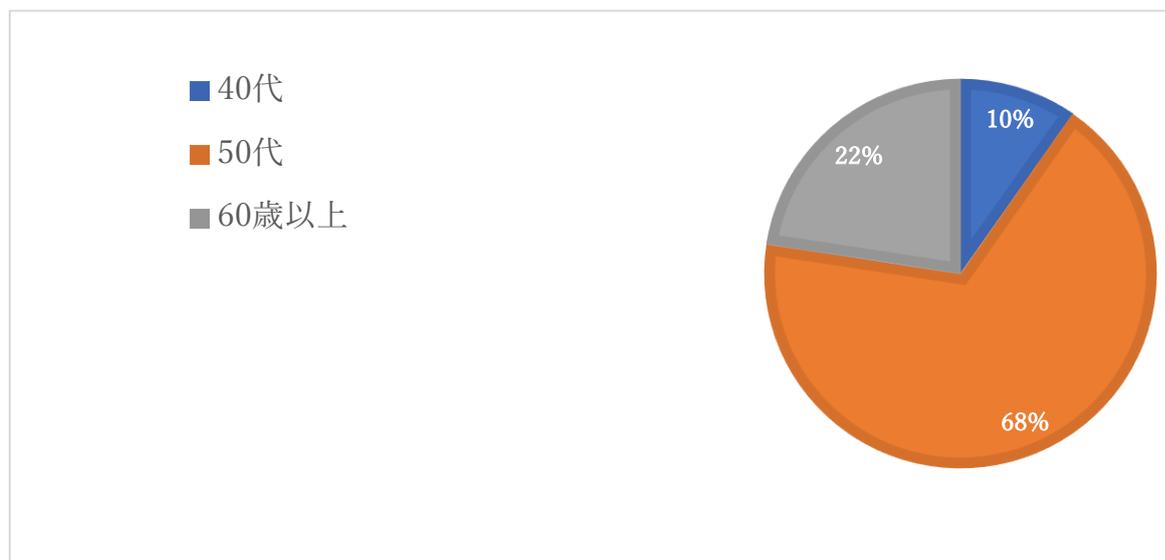
① 2名は協議会未加入者

② 2名が事情により参加ができなかったが、資料を拝読しアンケートに回答

設問 1.ブロック別参加人数

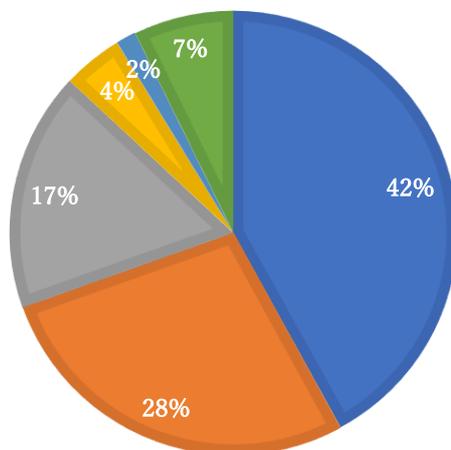


設問 2. 参加者年代



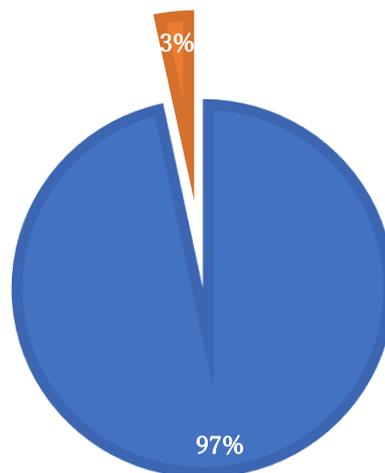
設問 3.受講動機

- テーマに関心があった
- 自己研鑽・スキルアップのため
- 講師の先生の話を知りたかった,
- 協議会やブロック活動に参加したかった
- 友達の勧めで
- 参加費が無料だから



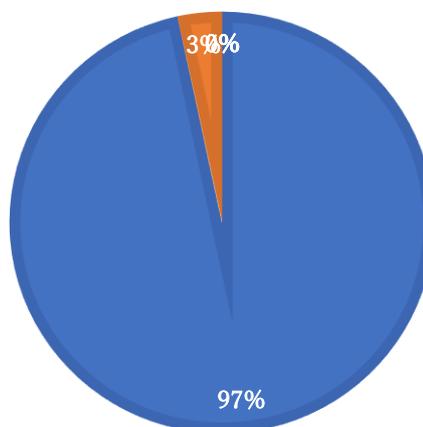
設問 4.講義に内容の理解

- 理解できた
- まあまあ理解できた
- どちらともいえない
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった



設問 5.実践に役立つか

- 大変役立つ
- まあまあ役立つ
- どちらともいえない
- あまり役に立たない
- 役に立たない



設問 6.本日の感想や講師の日下部明彦先生へのメッセージなどご自由にお書きください

<p>焦点化したテーマであったことが、現実をイメージしやすく過去の ACP を振り返る機会となりました。</p>
<p>例えば…など比較しやすい内容にして下っていたので、大変わかりやすく、スーッと入ってきました。これからの看護に活かせるような学びでした。ありがとうございました。</p>
<p>救命と延命の違いに感動し、アルゴリズムをすっ飛ばしていきなり患者家族にピックかポートを選べ！と迫る医師を思い出したり、心を揺さぶられました。</p>
<p>大変わかりやすく、いろいろ腑に落ちました。人生会議と言われると身構えてしまいますが、普段の看護の中で何を大切にしているのか、これからどう生活をしたいのかを繰り返し、確認しみんなで考え、やってきた事が大事だとあらためて思いました。ありがとうございました。</p>
<p>ACP 改めて学びました。ありがとうございます</p>
<p>とてもわかりやすかったです。</p>
<p>本日はご講演、ありがとうございました。必要な医療を選択する際、普段からの話し合いの積み重ねを記録に残していくことの大切さを改めて感じました。始めてしまった胃瘻も中止するという選択も可能だと知り、最期まで話し合うことの大切さも感じました。私は滋賀県彦根市在住のため、日下部先生に来ていただけると嬉しいと思います。</p>
<p>意思決定支援を具体的に現実的に考える機会となりました。とても有意義な研修でした。ありがとうございました。</p>
<p>訪問がありまして、途中からの参加でした。とてもわかりやすく、初めから聞けなかったことが残念です。またどこかで先生のお話を聞きたいと思いました。素敵な研修会をありがとうございました。</p>
<p>とてもわかりやすい内容でした。 私は退院支援をしています。終末期の人工栄養についてはいつもモヤモヤしています。病院の先生方は治療にしか興味がありません。在宅医からポートを入れて欲しいとも言われます。医療者も勉強してほしいです。そんなモヤモヤが少し解消されました。ありがとうございました。</p>
<p>東海北陸グロックスの講演会と開催日時が重なってしまい、参加できませんでしたが、資料を参照させていただき、解りやすく、ACP の必要性について明日からの訪問看護に活用していきたいと感じました。</p>
<p>大変わかりやすく、為になる内容でした。人工栄養療法を希望するかどうか・・・なのだと言う事は、目から鱗でした。ピースに ACP が隠れていることを発見した先生は凄い！ 本日は私達のためにありがとうございました。</p>
<p>とても、分かりやすく、頭の整理に繋がりました。</p>
<p>状況に応じて利用者、家族の思いを共有しながら意思決定支援ができればと思います。本当にありがとうございました。</p>
<p>ACP について苦手意識がありましたが具体的なお話でスッキリしました</p>
<p>貴重なお話しありがとうございました。 今後、相談者の支援に役立てていきたいと思います。お疲れ様でした。</p>
<p>あっという間の時間でした。ありがとうございました。 とにかく、繰り返し話し合う、本人を真ん中にして。職場に戻り共有したいと思います。</p>

ものすごくわかりやすく 心に沁みました

自身の仕事を振り返りながら、話を聞いていました。「PEG を希望するかどうかではなく、栄養療法を希望するか否かを聞くと良い。」現場で早速使いたいと思います。

以前、愛する家族のために(自身は希望しない)PEG 造設をするケースがありました。妻は介護をライフワークにしていたのですが、当事者は、時々何故?という悲しげな視線をこちらへ向けていました。途中妻へ夫からのメッセージを伝えましたが、妻の思いに押し切られる形となり、それから約 1 年間療養し逝去されました。妻はやり切ったと満足していましたが、果たしてそれで良かったのか否か、今思えば ACP も十分でなかった記憶があります。

今日先生からお話し頂いた内容を参考に、どう支援すべきかを考えながら仕事をしたいと思います。ありがとうございました。

ACP・意思決定支援の進め方について理解ができ、スッキリしました。

医学的に効果があるのか、ないのかを考えて治療の選択ができるような意思決定支援ができるよう、本日の内容を実践に活かせそうです。認知症の方に対する ACP を大切にしたいです。

胃瘻についてのモヤモヤ感はよく感じていましたが、本人・家族の意向を含めて慎重に方針を決められるような説明を行えるようにしていきたいです。

身近にある症例と照らし合わせながら講義を受けることができました。有意義な時間となりました。ありがとうございました。

わかりやすく、聞き取りやすく参加して本当に良かったです。ありがとうございました！医療処置が、状況により延命処置的になったり、救命治療的であったりということに、まさに納得。